

EGI-LP用タンク:WKM容器 作業要領書 (セドリック用)

- 再検査等における部品の取り付け、取り外しに関する手順については、本書を参考に作業されることを推奨致します。
なお、作業手順については、左欄の上から順番に取り外し手順を示し、右欄の下から取り付け手順を示しております。
- 本書はWKM容器をベースに記載しておりますが、WME容器につきましても本書を参考に作業をお願い致します。
なお、不明な点については、各車種毎に発行されております「修理書」を参考にしてください。
- 本書に指示されている部品番号の部品については、各ディーラにて購入可能です。

＊ ＊ 無断転載禁止 ＊ ＊

中央精機株式会社

◎この資料の記載内容は2016年 2月現在のものです。

◎製品改良に伴い、型式名等、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承下さい。

＜作業要領＞

- 容器取り外し,取り付け作業 3～5ページ
- インシュレータ(吸音材)取り外し,取り付け作業 6ページ
- カバー類取り外し,取り付け作業 7,8ページ
- セミコンテナケース・サイドカバー取り外し,取り付け作業 9ページ
- フューエルポンプ取り外し,取り付け作業 10,11ページ
- 安全弁の取り外し,取り付け作業 12ページ
- 充てんバルブ(過防弁) 取り外し,取り付け作業 13ページ
- フューエルゲージ取り外し,取り付け作業 14ページ
- 高圧フィルタ取り外し,取り付け作業 15ページ
- 容器本体/配管接続部 気密確認作業 16ページ

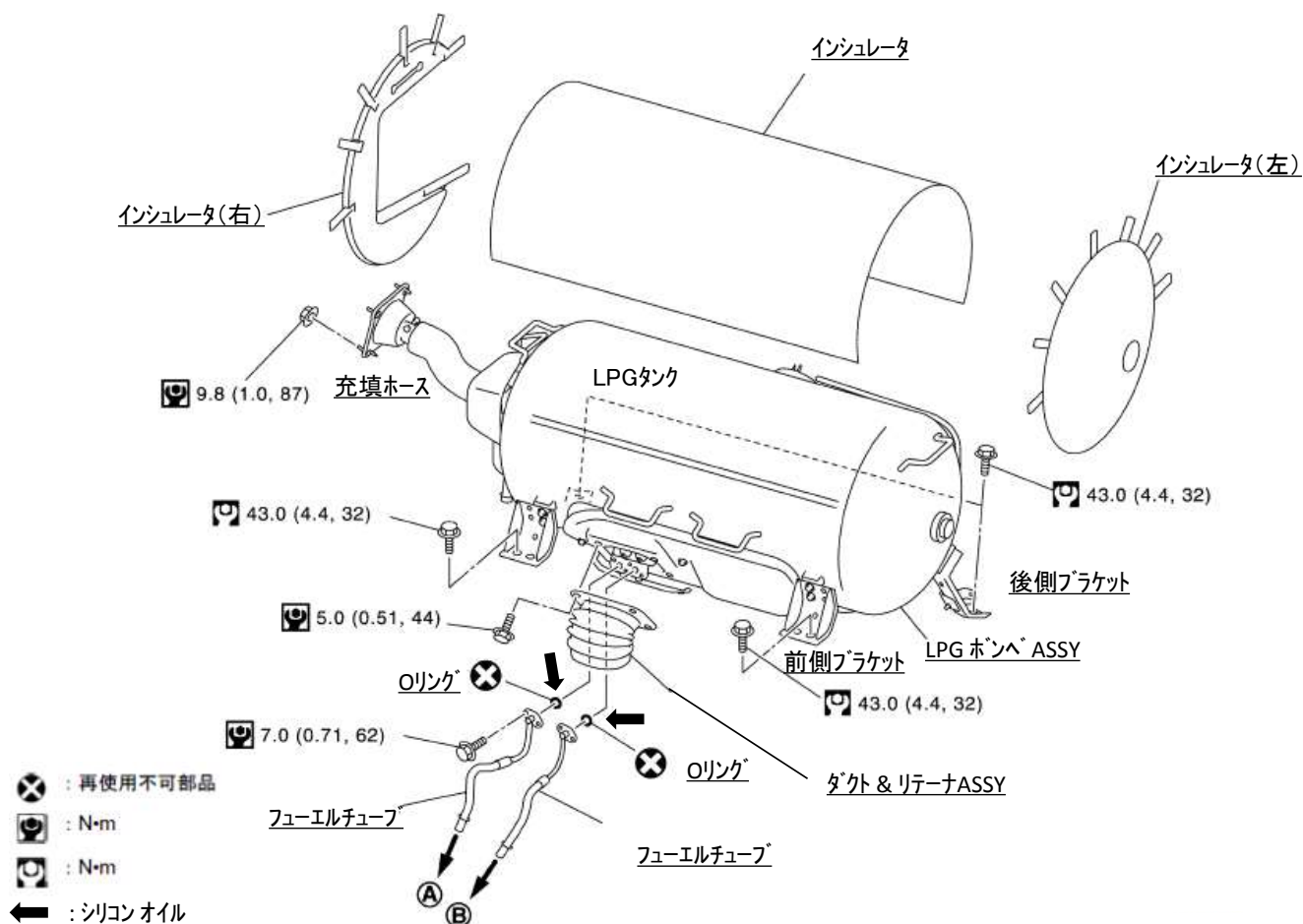
＜部品識別＞

- インシュレータ(吸音材)の仕様違いについて 17ページ
- ハンドル組付の注意点 18ページ
- ポンプフランジの識別方法について 19ページ
- 安全弁の識別方法について 20ページ
- 充てんバルブ(過防弁)の識別方法について 21ページ
- フューエルゲージの識別方法について 22ページ

容器取り外し,取付作業

取り外し手順			作業補助図	取付手順	
1		配管内燃料流出防止作業 フィート側燃料流出防止作業	(要領は日産整備要領書参照)	—	—
2	車内	リアシートクッションを取り外す。 ・ホルダー部フック 2箇所 ・シートバック側フック2箇所	サービスホール カバーパネル 遮音材 フック3箇所 シートバック スクリーン4 箇所 シートクッション ホルダー2個	14	リアシートクッションを取り付ける。
3	車内	中央シートベルトのフロアアンカ(中央)を取り外す。		13	中央シートベルトのフロアアンカ(中央)を取り付ける。
4	車内	リアシートバックを取り外す。 ・スクリーン4本 ・後側フック3箇所		12	リアシートバックを取り付ける。
5	車内	遮音材をめくり、サービスホールカバーパネルを取り外す。 ・ホルト10本		11	サービスホールカバーパネルをホルト10本で取り付け、めくっていた遮音材を戻す。
6	車内	ダクト & リテーナASSYをめくる。		10	ダクト & リテーナASSYを取り付ける。
7	車内	フューエルチューブを切り離す。 (1)ホルト4本を外し、フューエルリターンホース及びフューエルフィードホースを切り離す。 (2)配管側についているリングを取り外してください。		9	フューエルチューブを取り付ける。 (1)シリコンオイルを新品のリング2個に塗布。 (2)ホルト4本で、フューエルリターンホース及びフューエルフィードホースを取り付ける。
注: 配管内に圧力が残っている場合があります。ホルトは徐々に緩めること。					
8	車内	前側ブラケット(左)のハーネスコネクタを取り外す。	コネクタ ボルト	8	前側ブラケット(左)のハーネスコネクタを取り付ける。
9	車内	前側ブラケットのボルト2本(左右各1本)を取り外す。		7	前側ブラケットのボルト2本(左右各1本)を取り付ける。 T=43N・m
10	トランク	フロア マットを取り外す。	トランク フロント フィニッシュ トランク フロア マット	6	フロア マットを取り付ける。
11	トランク	トランク フロント フィニッシュを取り外す。		5	トランク フロント フィニッシュを取り付ける。
12	車外	フィラーネックの車両側取り付けナット4個を外し、充てんホースを切り離す。 次ページへ続く		4	充てんホースのフィラーネックをナット4個で取り付ける。

13	トランク	車両側ハーネスコネクターを取り外す。		3	車両側ハーネスコネクターを取り付ける。
14	トランク	ドレーンホース2本を取り外す。		2	ドレーンホース2本を取り付ける。
15	トランク	リヤ プラケットのボルト2本を取り外し、 フューエルタンクを取り外す。 注: タンクを持ち上げながら引き出すこと 1) タンク下面のゴムブーツを破らないため 2) アダプタを干渉させて破損させないため		1	フューエルタンクをセットし、リヤ プラケットの ボルト2本を取り付ける。 T=43N・m 注: タンクを持ち上げながら引き込むこと 1) タンク下面のゴムブーツを破らないため 2) アダプタを干渉させて破損させないため

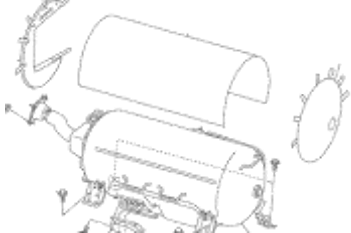
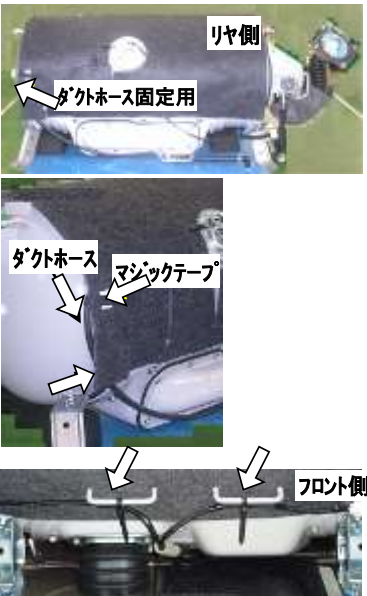
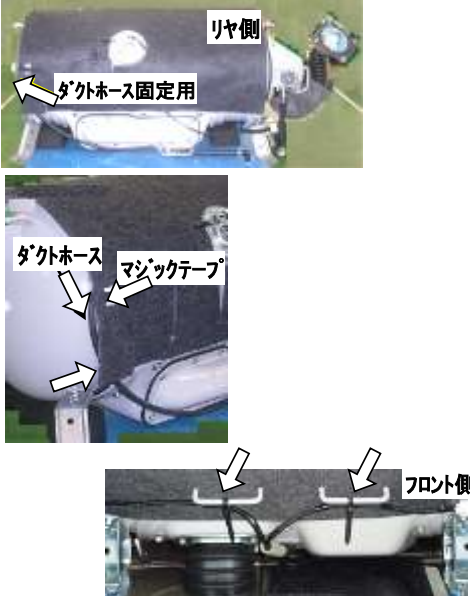


容器搬送時の注意

※車両から容器を降ろした後は、以下に注意すること。

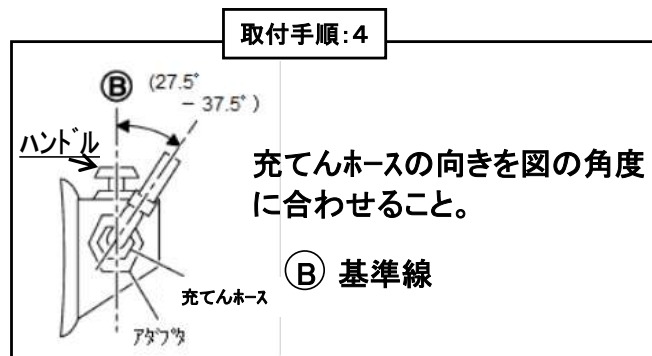
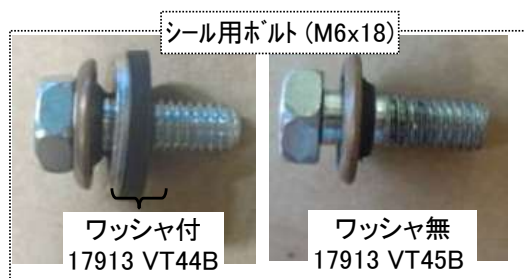
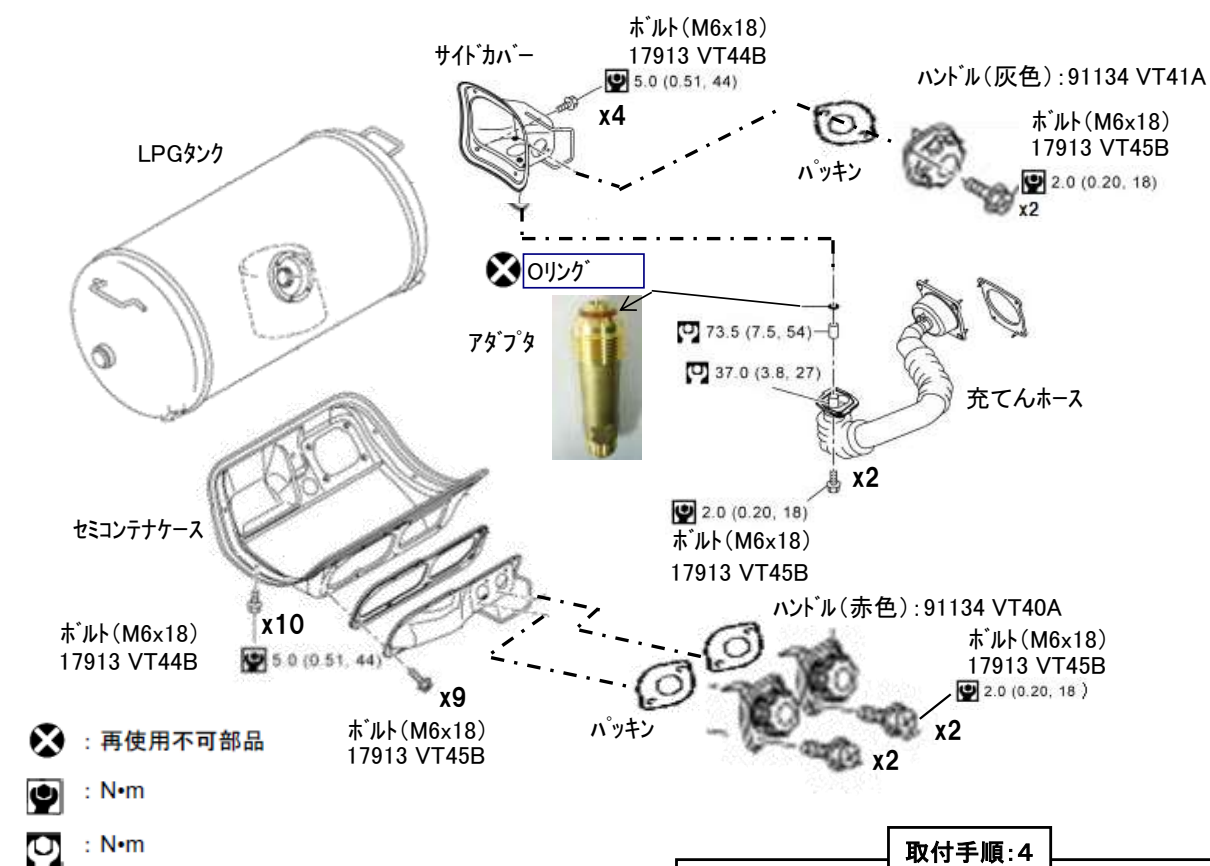
容器記号		WKM (セトリック)
注意点		
搬送時	握手を持って搬送すること	
置く時	ケースを上に向けて置くこと	目的: ケース下面から出ている 部品を保護する為  容器保持具 注: タケホース、ゲージハーネス、ゲージカバーが 保持具と干渉しないこと (タンク写真: WME)

吸音材取り外し・取付作業

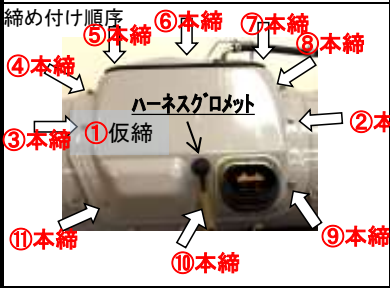
取り外し手順		作業補助図	
1	鏡部インシュレータのマジックテープを外し、鏡部のインシュレータを取り外す。	<旧タイプ吸音材の場合> 	<現行タイプ吸音材の場合> 鏡部インシュレータは付いてないので、手順2から行う。
2	(1)フロント側のクランプ(タイラップ)2個を取り外す。 (2)リヤ側のダクトホース固定用マジックテープを外す。 (3)胴部インシュレータ固定用マジックテープを外し胴部インシュレータを取り外す。		 <組み付け時の注意> ①:ダクトホースは胴部インシュレータ固定用マジックテープにてダクトホースを固定すること。 ②:前側はインシュレータを取手部に通過させハーネス2か所をクランプ(タイラップ)にて取り付けること。
3	組み付け時 ケースに付いているマジックテープとインシュレータの形状を確認する。 ※【インシュレータの仕様違いについて】を参照下さい。 組み付け手順は、 取り外しの逆の手順で行う。	 3点	 1点

</

9	ボルト2本を外し、ハンドル(灰色)とパッキンを取り外す。		3 (1)パッキンをセットし、ボルト2本でハンドル(灰色)を取り付ける。 $T=2.0N\cdot m$ (2)ハンドルを左右に回してジョイントと“カチカチ”と接触してる事を音で確認すること。 灰色ハンドル: 91134 VT41A ボルト: 17913 VT45B 注: パッキン取付け部に異物を混入させない
10	フューエルゲージカバーのスクロ4本を外し、ゲージカバーを移動する。		2 ゲージカバーのガスケットをしっかりと固定しスクロ4本で、ゲージカバーを取り付ける。 $T=3.0N\cdot m$ スクロ: 17913 VT42B スクロ(M5x10) 注: ガスケット取付け部に異物を混入させない
11	フューエルゲージハーネスのスクロ緩めてハーネス端子とコネクタを外し、ゲージカバーを取り外す。		1 容器の燃料漏れ点検(気密試験)を実施の後、フューエルゲージへカバー付属ハーネスのハーネス端子及びコネクタを取り付ける。



セミコンテナケース・サイドカバー取り外し,取付作業

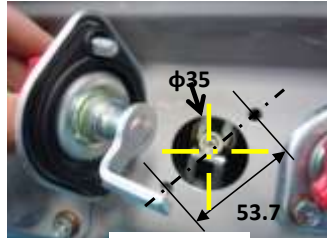
取り外し手順	作業補助図	取付手順
【カバー類取り外し作業要領】に沿って、関連部品が外された状態からの作業を示す。 1 ボルト4本を外し、サイドカバーを取り外す。		2 サイドカバーをセットし、ボルト4本で取り付ける。$T=5.0N\cdot m$ ボルト: 17913 VT44B 注: ケース固定時、ハンドル用穴位置を合わせてから組付けること(図参照)
2 ハーネスグロメットを内側に押込み、ボルト10本を外し、セミコンテナケースを浮かせ、ハーネスを押込み、セミコンテナケースを取り外す。	締め付け順序 	1 ハーネスを内側からハーネス通過用穴にグロメット部まで差し込み、セミコンテナケースを取り付け、ボルト10本で取り付ける。$T=5.0N\cdot m$ グロメットを正規位置に取り付ける。 ボルト: 17913 VT44B 注1: ケース固定時、ハンドル用穴位置を合わせてから組付けること(図参照) 注2: 位置決め穴があるので、締め付け順序通り固定すること

注1

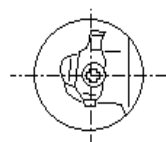
ハンドルの回転性を確保するために、ハンドルを組み付けるセミコンテナケースを容器に組み付ける際にケースの穴とバルブジョイント中心の芯あわせをして組み付けをしてください。(メイン、リターンハンドルも同様です)



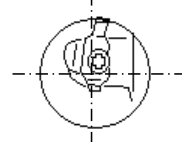
サイドカバー



セミコンテナケース



芯が合っている状態

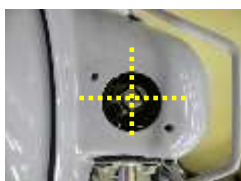


芯が合っていない状態

① サイドカバーを容器にセットする



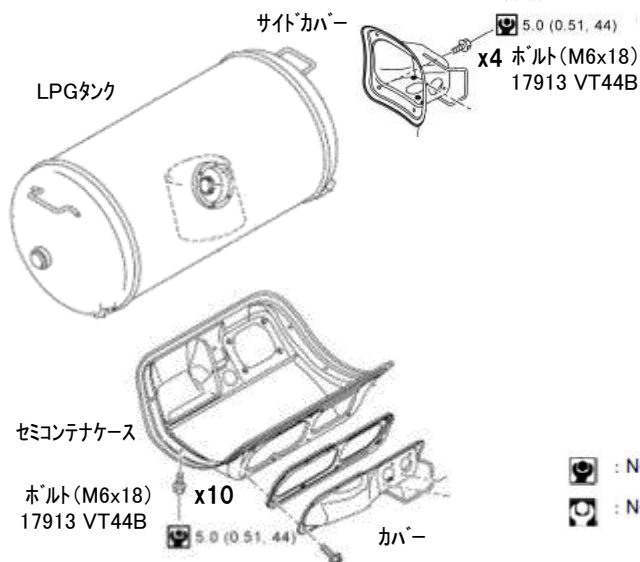
② カバーの穴と、バルブ中心が一致する様に



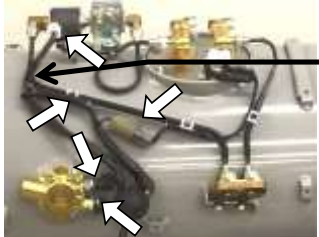
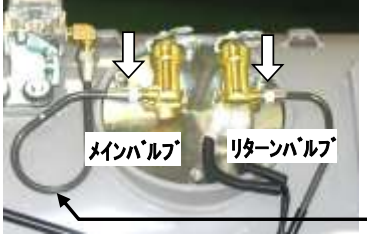
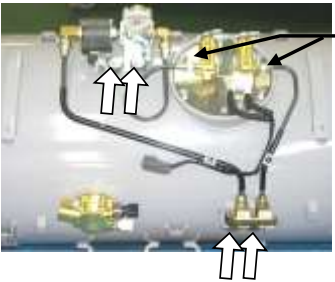
③ カバーをボルトで取り付ける

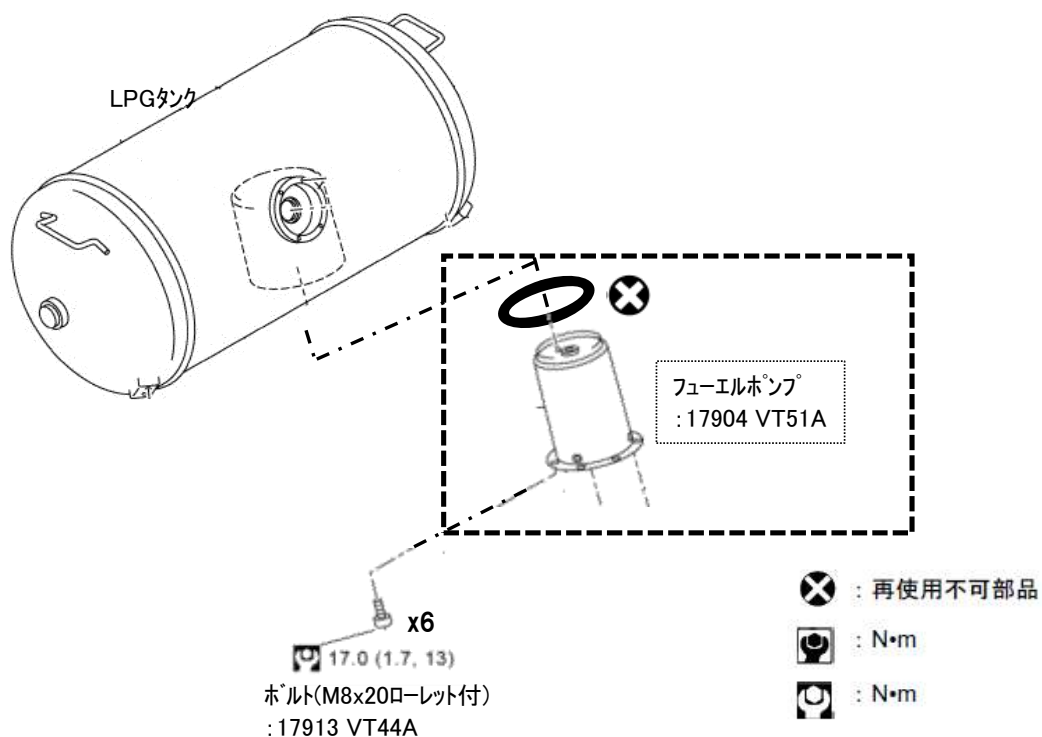


④ ハンドルをボルトで取り付ける



ポンプASSY取り外し,取付作業

取り外し手順	作業補助図	取付手順
1 安全弁及びタンク遮断弁のハーネスコネクタ4個を外し、ハーネスの配管クランプ1個は外してハーネスを取り外す。 2 ポンプハーネスの配管クランプを外す。 注:ポンプユニットのハーネスはポンプユニットのターミナル部から外さないこと		1) タンク遮断弁のハーネスは配管と容器の間を通し、ハーネスコネクタ1個を取り付ける。 2) 安全弁ハーネスコネクタ2個を取り付ける。 3) LPGハーネスとポンプハーネスのコネクタ1個を取り付ける。 4) ポンプハーネスの配管クランプを取り付ける。 注:ハーネスコネクタ取付はカチッと音がするまで押し付けること
ユニオンナットレンチ(2面幅19mm)を用いて、メインバルブからフューエルチューブを外す。 ユニオンナットレンチ(2面幅17mm)を用いて、リターンバルブからフューエルチューブを外す。		ユニオンナットレンチ(2面幅19mm)を用いて、メインバルブとフューエルチューブを取り付ける。 $T=43N \cdot m$ 注:メインチューブ締め付け時に配管と容器が干渉しない様に隙間を設けること(隙間8mm程度) ユニオンナットレンチ(2面幅17mm)を用いて、リターンバルブとフューエルチューブを取り付ける。 $T=23N \cdot m$
タンク遮断弁のボルト2本を取り外す アダプタのボルト2本を取り外す タンク遮断弁、フューエルチューブをアセンブリを取り外す		(1)タンク遮断弁・フューエルチューブASSYを取り付けてメインバルブ・リターンバルブとフューエルチューブを仮締めする (2)タンク遮断弁用ボルト2本、アダプタ用ボルト2本を締め付ける $T=5.0N \cdot m$ ボルト: 17913 VT45A 注:フューエルチューブ接続部に異物を混入させない
ヘキサゴンソケットレンチ(2面幅6mm)を用い、6本のボルトを外し、ポンプとOリングを取り外す。		(1)新品のOリングをポンプに取り付ける (2)ポンプを取り付けてヘキサゴンソケットレンチ(2面幅6mm)を用いて、ローレット付ボルト6本でポンプを締め付ける。$T=17N \cdot m$ ボルト: 17913 VT44A(ローレット付) ローレット付 注1: 指定のボルトを必ず使用すること 注2: Oリング取付け部に異物を混入させない 注3: 取付けの際は、【ポンプフランジの識別方法について】を参照下さい
交換部品 タンク遮断弁の内蔵コネクタ(高圧フィルター)を交換する。		注: 交換要領は15ページ 【高圧フィルター取り外し、取り付け作業】の取り外し3、4及び取り付け1、2を参照ください



← : シリコン オイル



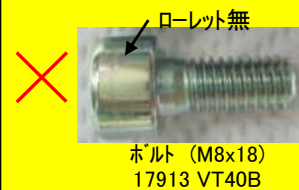
リングがポンプ取り付け部にしっかりと配置された状態で、部品を固定してください。

ポンプ部に使用するボルト種類

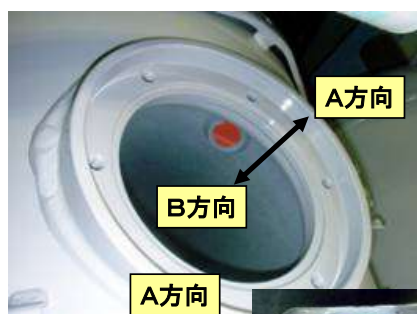


17913 VT44A
(M8x20ローレット付)

注: ポンプの固定に用いるボルトは、必ず指定ボルトを使用下さい



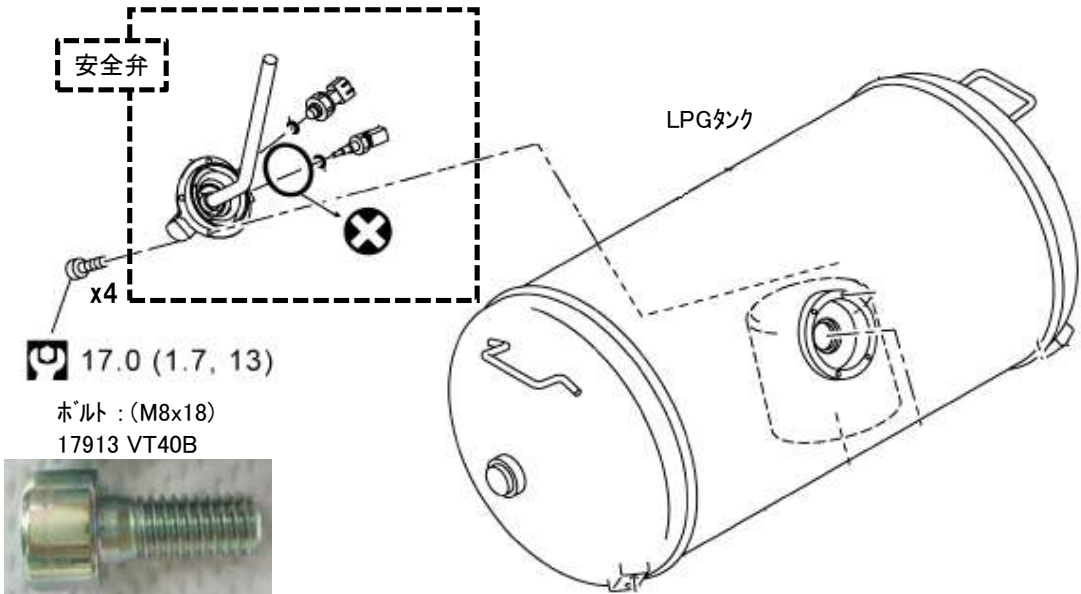
チェックバルブ (2個使い)



ポンプを取り出すと、容器側に2ヶ所赤茶色のゴム部品がセットされております。耐圧試験後の内部乾燥等で熱をかける場合は、これを取り外してから試験ください。取り外す場合は、ペンチ等で白色の樹脂の壁部分をはさみ、引き抜くように取り外してください。試験後、新品部品の方向を間違えずに、確実にはめ込みください。

フューエルベーパーセパレートバルブ(安全弁)の取り外し,取付作業

取り外し手順		作業補助図	取付手順	
1	ヘキサゴンソケットレンチ(2面幅6mm)を用い、4本のボルトを外し、安全弁を取り外す。Oリングを取り外す。		1	(1)新品のOリングをボンプ取り付け部に取り付ける。 (2)ヘキサゴンソケットレンチ(2面幅6mm)で、安全弁をボルト4本で取り付ける。 T=17N・m 注1: Oリング取り付け部に異物を混入させない 注2: 取り付けの際は、 【安全弁の識別方法について】を参照下さい



- ⊗ : 再使用不可部品
- ⊙ : N・m
- ⊙ : N・m



Oリングが容器取り付け部にしっかりと配置された状態で、部品を固定してください。

フューエルタンク 充てんバルブ(過防弁) 取り外し,取付作業

取り外し手順		作業補助図	取付手順	
1	ヘキサゴンソケットレンチ(2面幅6mm)にて4本のボルトを外し、充てんバルブとOリングを取り外す。		1	(1)新品のOリングをボンベ取付部に取付ける。 (2)ヘキサゴンソケットレンチ(2面幅6mm)を用いて、ボルト4本でフューエルタンク充てんバルブを取り付ける。 T=17N・m ボルト : 17913 VT40B
注1: Oリング取付け部に異物を混入させない 注2: 取付の際は、 【過充てん防止装置の組付時の注意点について】 及び【フューエルタンク オーバーフィルチェックバルブ(過防弁)の識別方法について】を参照下さい				



ボルト : (M8x18)
17913 VT40B
17.0 (1.7, 13)



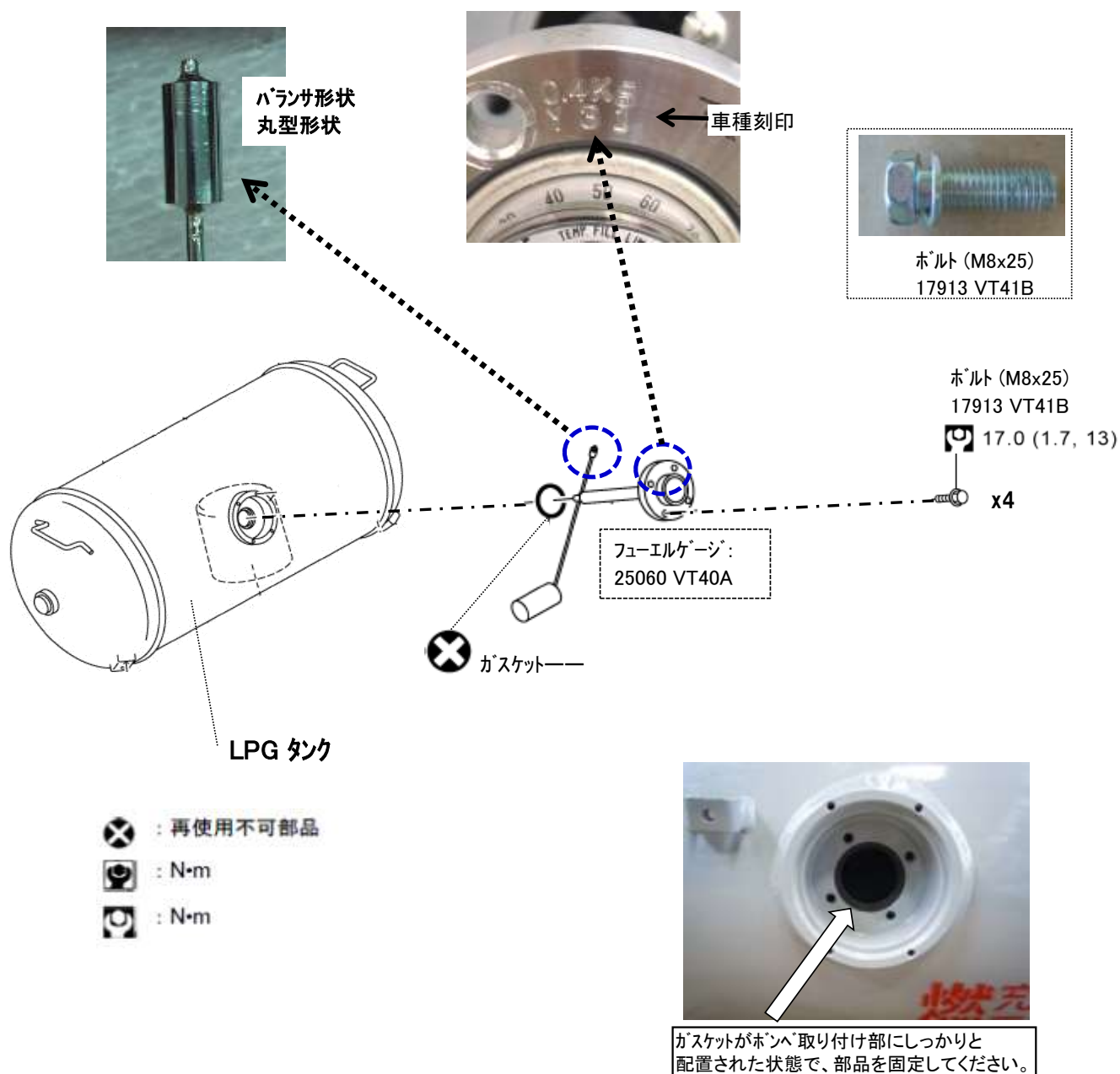
- ⊗ : 再使用不可部品
- ⊙ : N・m
- ⊕ : N・m



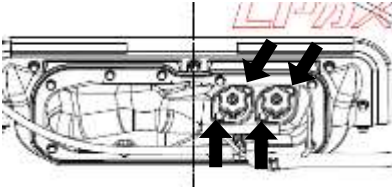
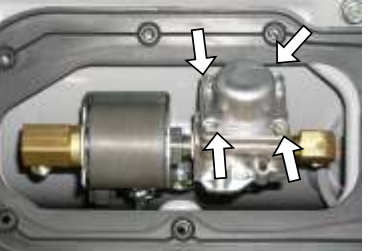
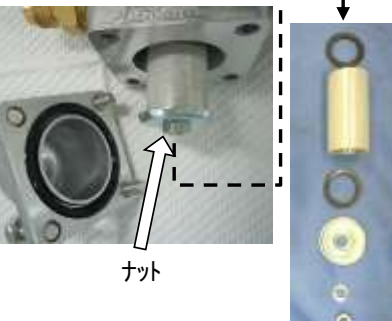
Oリングが容器取り付け部にしっかりと配置された状態で、部品を固定してください。
容器を立てて作業することを推奨します

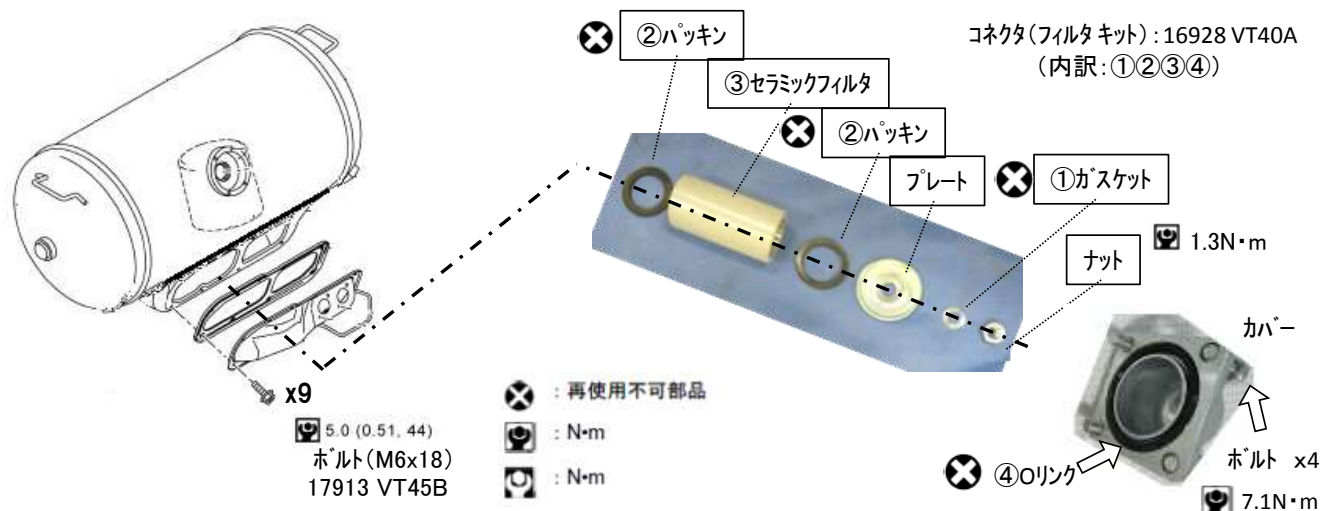
フューエルゲージ取り外し,取付作業

取り外し手順	作業補助図	取付手順
1 ホルト4本(2面幅12mm)を外し、フューエルゲージを取り外す。 ガスケットを取り外す。		1 フューエルゲージに刻印「Y31」されており、 バラッサ形状「丸形」を確認の上 新品のガスケットをセットして、ボルト4本で フューエルゲージを取り付ける。 $T=17N \cdot m$ ボルト: 17913 VT41B 注1: ガスケット取付け部に異物を混入させない。 注2: 取付けの際は、 【フューエルゲージの識別方法について】 を参照下さい



高圧フィルタ取り外し,取り付け作業(フィルタ単体での交換時)

取り外し手順	作業補助図	取付手順
1 ハンドルのボルト4本を外し、メイン/リターンバルブのハンドル(赤)とパッキンを取り外す。		4 セミコンテナケースにパッキン・メイン/リターンハンドル(赤)を取り付け。$T=2.0N\cdot m$ 赤色ハンドル: 91134 VT40A ボルト: 17913 VT45B 注1: パッキン取付け部に異物を混入させない
2 セミコンテナケースに付いているカバーのボルト9本を外し、カバーを外す。		3 カバーをセットし、ボルト9本にて取り付ける。$T=5.0N\cdot m$ ボルト: 17913 VT45B
3 タンク遮断弁のカバーのボルト4本を取り外し、カバーとOリングを取り外す。		2 Oリングとカバーをセットし、ボルト4本で取り付ける。$T=7.1N\cdot m$
4 フィルタ固定用ナット1個を取り外し、 ・ガスケット、プレート、 ・パッキン2枚、 ・セラミックフィルタ を取り外す。	 ナット	1 図示通りの順序で ・パッキン2枚、 ・セラミックフィルタ ・プレート、ガスケット、 をセットし、ナットにて取り付ける。$T=1.3N\cdot m$ 注: エLEMENT及びOリング取付部に異物を付着させない

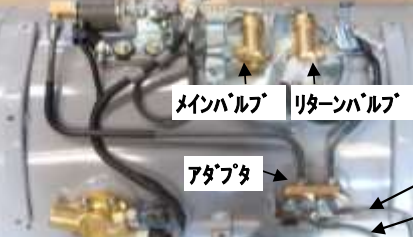


容器本体 気密確認作業

(タンク写真:WME)

作業手順	作業補助図
1 (1)①ドレンプラグ、②ポンプASSY ③フューエルガステンバチャセンサ(安全弁) ④フューエルセンタゲージ ⑤フューエルタンクオーバーフィルチェックバルブ が容器に確実に取り付けられている事を確認する。 (2)メインバルブ、リターンバルブが閉じている事を確認する。	 リターンバルブ メインバルブ
2 (1)容器を反転し、ポンプ取付け面を下へ向ける。 (2)加圧用ホースをフューエルタンクオーバーフィルチェックバルブに接続してバルブを開く。 (3)加圧ホースから圧力を徐々に加える。 (加圧力:0.06MPa) (4)メインバルブ 取り付け部の気密確認を行う。 注1:ポンプ取付け面が上方を向いてるとフューエルタンクオーバーフィルチェックバルブが作動し	 加圧用ホース 注2: 容器を反転させる際は、容器本体及び部品への傷付きに注意すること。 
3 (1)更に圧力を徐々に加える。 (加圧力:2.28MPa) (2)容器本体、付属品取り付け部及びメインバルブ 取り付け部の気密確認を行う。 注: 指定圧力以上の加圧は行わないで下さい。部品が破損する恐れがあります。	 ※矢印は付属品取り付け部を示す 注1: ハーネス(ナット)は外さずにポンプフランジのハーネス結線部の気密を確認すること(樹脂キャップは外すこと) 注2: 気密試験後に樹脂キャップを写真のように取り付けること ・結線部の端子同士を接触させないこと ・ねじトルク 4N・m ナットの緩み、端子接触により、結線部が発熱し 

配管接続部 気密確認作業

作業手順	作業補助図
4 【ポンプ取付手順】に従い取り付けが完了してからの作業を示す アダプタにホース配管を取り付け、ソケットヘキサゴンレンチ(6mm)を用いて、ボルト4本でアダプタへ取り付ける。 T=9.0N・m	 メインバルブ リターンバルブ アダプタ WKM用 メインホース配管: 17550 VT40A リターンホース配管: 17551 VT40A } 別途入手下さい WME、WSB用 メインホース配管: 77260-43010 リターンホース配管: 77250-43010 } 別途入手下さい
5 (1)メインバルブ、リターンバルブが閉じていることを確認する。 (2)ホース配管側から徐々に加圧する。 (加圧力:3.9MPa) (3)配管接続部の気密確認を行う。 (4)加圧力を2.28MPaに変更する。 (5)メインバルブ、リターンバルブを開く。 (5)リターンバルブ 取り付け部の気密確認を行う。 注1: 指定圧力以上の加圧は行わないで下さい。部品が破損する恐れがあります。 注2: 気密確認の際、ハーネスコネクタを接続してから実施して下さい。 注3: 気密確認後は、付属品及び容器本体に付着した水分を確実に除去してください。	 メインバルブ リターンバルブ メイン・リターンホース配管反対側形状 配管先端部ネジ形状(M14xP1.5) →加圧  リターンバルブ 取り付け部 リターンバルブ 取り付け部の気密確認については当作業での気密確認を合わせて実施下さい。
6 (1)気密確認が終わったら、フューエルタンクオーバーフィルチェックバルブを開き、タンク内の圧力を除去する。 (2)フューエルタンクオーバーフィルチェックバルブに除圧用ホースを接続する。 (3)フューエルタンクオーバーフィルチェックバルブを開き、真空引きを行う。 (真空度:-0.08MPa以上)	 除圧用ホース フューエルタンクオーバーフィルチェックバルブ

吸音材の仕様違いについて

(旧タイプタンク写真:WME)

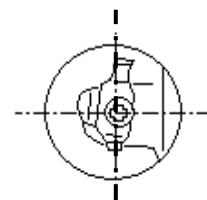
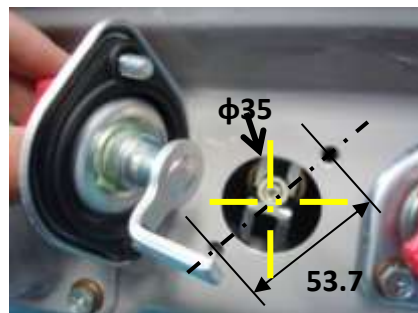
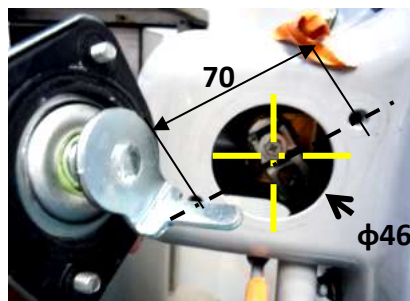
		外観	ケース側の違い	
旧タイプ	鏡部 吸音材付			
	鏡部 吸音材無		アンダーケース  ベルクロ(2ヶ所)  ベルクロ(5ヶ所) サイドケース  ベルクロ(2ヶ所)	
現行タイプ			セミコンテナケース 	

注意点
・現行タイプのケースが付いてる容器には、旧タイプの吸音材が使用出来ません。
必ず現行タイプの吸音材を使用ください。

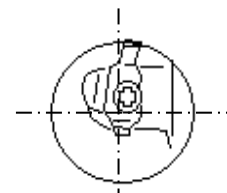
吸 音 材	ケース	
	旧タイプ	現行タイプ
	旧タイプ ○	×
現行タイプ	○	○

ハンドル組付の注意事項

ハンドルの回転性を確保するために、ハンドルを組み付けるセコンテナケースを容器に組み付ける際にケースの穴とバルブジョイント中心の芯あわせをして組み付けをしてください。(メイン、リターンハンドルも同様です)



芯が合っている状態

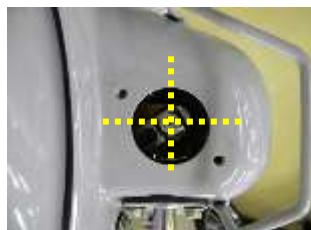


芯が合っていない状態

- ① サイドカバーを容器にセットする



- ② カバーの穴と、バルブ中心が一致する様にカバーの位置を合わせる



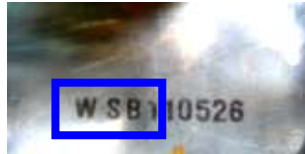
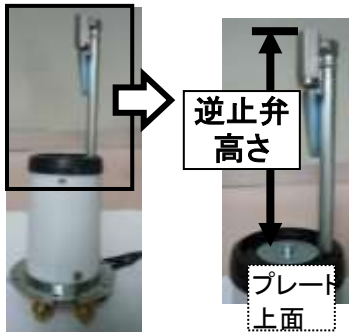
- ③ カバーをボルトで取り付ける



- ④ ハンドルをボルトで取り付ける



ポンプフランジの識別方法について

容器記号		WME(コンフォート)	WKM(セトリック)	WSB(ダイヤ)
部品品番		77020-43030	17904 VT51A	77020-25020
識別方法	車種スタンプ	WME	WKM	WSB
				
	容器記号と同じ記号がスタンプされています。			
	逆止弁高さ	約200mm	約180mm	約135mm
		容器により、逆止弁の高さが異なります。		

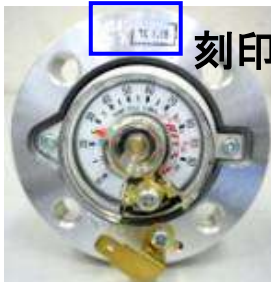
フューエルベーパーセパレートバルブ(安全弁)の識別方法について

容器記号	WME(コンフォート)	WKM(セトリック)	WSB(ダイヤ)
部品番号	77018-43020	—	77018-25160
センサー 取付方向	パイプ曲げ方向と異なる向き		パイプ曲げ方向と同じ向き
識別方法			

フューエルタンクオーバーフィルチェックバルブ(過防弁)の識別方法について

容器記号		WME(コンフォート)	WKM(セトリック)	WSB(ダイナ)	WLM,WLL(旧コンフォート)
部品番号		77390-43011	—	77390-25010	77390-30060
		MV-F126	MV-F136	MV-F125	MVF100
	刻印				
バルブ記号の刻印があります。					
識別方法					

フューエルゲージの識別方法について

容器記号		WME(コンフォート)	WKM(セトリック)	WSB(ダイナ)	WLM,WLL (旧コンフォート)
部品品番		83320-43042	25060 VT40A	83320-25110	83320-43010
識別 方法	車種刻印	404W	Y31	201W	059W
	 刻印部位				
	ゲージフランジ部に、車種刻印があります。				
	アーム balans ー	角型 balans ー	円柱型 balans ー		
	 balans ー				
フロートアーム先端の balans ー(おもり)形状が、WME用は異なります。					